

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“「JR総連・東労組」崩壊の兆し!?”

「国鉄改革の裏側」ダイジェスト版 **第5回**

あの元国鉄労働課長が明かす「国鉄改革の裏側第5弾」が【「JR総連・東労組」崩壊の兆し!?”】という本になった。本紙は筆者（宗形明氏）の了解を得て、『JR東日本革マル問題の現状』をダイジェスト版として紹介することとした。



JR東労組内部紛争の勃発と5年猶予の混迷

松崎・本部派と嶋田・反本部派の組織対立問題は、02年10月30日の嶋田邦彦筆頭副委員長以下8名の本部役員大量辞任騒ぎによって世間の耳目を惹くようになったが、一般に「いわゆる東京問題に端を発するJR東労組の内部紛争...」と言われるようにその年の2月前後から既に発生し進行していた。以降、今日に至るも收拾の目途がつかず、益々混迷の度を深めている。

*2002年10月30日、JR東労組本部役員大量辞任（嶋田邦彦筆頭副委員長以下中央執行委員8名） *2002年1月1日、警視庁公安部はJR東日本「浦和電車区脱退・退職強要事件」で、JR東労組大宮地本梁次邦夫副委員長ら7名を逮捕。 *2003年1月23日、JR東労組中央執行委員会「8人の中央指導部の辞任に対する見解」=松崎氏との運命共同体声明（盲従宣言） *2003年3月、福原福太郎著『記録「国鉄改革前後」- 労組役員の備忘録から -』 *2003年4月、松崎明編著『仇花と崇高な心』 *2003年5月、嶋田邦彦編著『虚構からの訣別』 *2003年6月12日、警視庁公安部は「JR東海・東京駅<暴力>事件」関連で、JR総連本部事務所や日本鉄道福祉事業協会などJR総連関係施設への家宅捜索を行い、「国際交流基金の預金通帳」などを含む多数資料を押収。JR総連本部に対する初めての“ガサ入れ”として注目された。 *2005年6月、谷川忍（=福原福太郎）著『小説 労働組合』 *2005年12月7日、警視庁公安部が“業務上横領”容疑で、JR総連本部及び東労組など十数カ所（松崎元元JR東労組会長の自宅やJR総連元幹部宅も含む）について家宅捜索。 *2006年6月11日、「JR東労組を良くする会」発足 *2006年9月末、福原福太郎著『「小説労働組合」発刊以後』 *2006年11月20日、JR東労組第30回臨時中央委員会【決定事項】 「JR東労組を良くする会」は、組織破壊集団である。「東日本旅客鉄道労働組合中央本部に対する、署名組合員による要請 署名簿」に署名した組合員は、2007年1月10日までに、本部に撤回の意思表示をすること。それまでに撤回しなかった者は、「組織破壊者」と判断せざるを得ない。署名した者は、機関役員として認めない。 *2006年12月3日、長野で松崎・本部派が「健全なJR東労組長野地本を創る会」起ち上げ。 *2007年1月25日、JR東労組第13回中央執行委員会は、「JR東労組を良くする会」が06年6月の定期大会初日、本部に宛て提出した4項目・要請書に賛同署名し、1月10日の期限までに署名撤回しなかった104名の組合員を、2月14日の「第31回定期中央委員会」に制裁申請することを決定。 *2007年6月17日、東労組長野地本（JR総連傘下）と東ユニオン長野地本（JR連合傘下）とが「JR労働運動に革マル派は要らない」を共通の目標・旗印とした「今後のJR労働運動を考える長野集會」を共同開催。両組合は、当日の「記念講演者」として『週刊現代』西岡研介記者を招いた。 *2007年6月21日、「JR東労組を良くする会」を母体とした反本部派労組「ジェイアール労働組合（略称：JR労組）」が結成大会を開催<本間雄治委員長、野口光男副委員長、小林克也書記長、阿部克幸、米澤光一、神田浩一各執行委員> *2007年7月17日、「浦和電車区事件」に対し、東京地裁は被告7名全員有罪の判決を下した。 *2007年7月20日、JR東労組本部及び八王子地本が、JR東日本（清野智社長）を相手取って、都労委に対し「不当労働行為救済」申し立てを行なった。・・・

【「JR総連・東労組」崩壊の兆し!?”（高木書房）P.77~P.84】